

## 島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所（耐震基本方針：機器・配管系の計算書作成の方法）

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.39,46	立形ポンプの水平方向及び鉛直方向の固有周期を示す表について、当初左列には1行目に「モード」と記載のうえ、2行目以降に「水平1次」及び「鉛直1次」と記載していました。 本基本方針を適用する立形ポンプの応答解析モデルは水平方向及び鉛直方向で共通であるため、表の左列1行目を「方向」、2行目以降を「水平方向」及び「鉛直方向」に適正化しました。	2021/12/7	
2	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.81,85	1.4.2及び2.4.2 応力の表中の「銅板」を「胴板」に適正化しました。	2021/12/7	
3	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.91	「M1」及び「M2」の記号の説明について、「脚付け根部」を「脚付根部」に適正化しました。	2021/12/7	
4	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.167	下から5行目の「種別及び型式」を「種類及び型式」に適正化しました。	2021/12/7	
5	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.171	表5-3の注記*2について、「/（半角）」を「/（全角）」に適正化しました。	2021/12/7	
6	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.173	「□. $S_n \geq 3 \cdot S_m$ 場合」を「□. $S_n \geq 3 \cdot S_m$ の場合」に適正化しました。	2021/12/7	
7	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.174	(2) d.の「/（半角）」を「/（全角）」に適正化しました。	2021/12/7	
8	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.176,177	記号（破線）の説明について、「他系統の管であって、 <u>解析モデルの概略を・・・</u> 」を「他系統の管であって解析モデルの概略を・・・」に適正化しました。	2021/12/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
9	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.178	FORMAT 耐-3：配管の付加質量，フランジ部の質量，弁部の質量の表の注記について，「重量」を「質量」に適正化しました。	2021/12/7	
10	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.180	FORMAT 耐-8：固有周期及び設計震度の表の注記について，以下下線部の記載を削除し，適正化しました。 「*2：各モードの固有周期に対し，設計用床応答スペクトル I（弾性設計用地震動 S d）又はこれを上回る設計用床応答スペクトルより得られる震度 *3：各モードの固有周期に対し，設計用床応答スペクトル I（基準地震動 S s）又はこれを上回る設計用床応答スペクトルより得られる震度」	2021/12/7	
11	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.180	FORMAT 耐-8：固有周期及び設計震度の表の注記について，以下下線部の記載を追加し，適正化しました。 「*4：設計用震度 I（弾性設計用地震動 S d） <u>又はこれを上回る設計震度</u> 及び設計用震度 I（基準地震動 S s）又はこれを上回る設計震度」	2021/12/7	
12	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.181	「・FORMAT 耐震-9：」を「・FORMAT 耐-9：」に適正化しました。	2021/12/7	
13	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.206	図左上の「-+」の図を削除し，適正化しました。	2021/12/7	
14	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.206	取付ボルト側の A～A 矢視図について，転倒方向に対して転倒支点となるボルト列及び引張を受けるボルト列を示す点線が一致していなかったため，適正化しました。	2021/12/7	
15	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法	p.216	「nfV」，「nfH」の記号の説明について，「（側面方向転倒）」及び「（正面方向転倒）」をそれぞれ「（側面方向）」，「（正面方向）」に適正化しました。	2021/12/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
16	NS2-添 2-001-14	VI-2-1-14 機器・配管系の計算 書作成の方法	p.222	図5-4(3)及び図5-4(4)について、「/ (半角)」を「／ (全角)」に 適正化しました。	2021/12/7	